

●黒部川水系河川整備計画（大臣管理区間）の概要（別紙参照）

黒部川は、その源を富山県と長野県の県境の鷲羽岳（標高 2,924m）に発し、立山連峰と後立山連峰の間に峡谷を刻み北流し、黒薙川等の支川を合わせ、黒部市愛本に至り、その後は扇状地を流下し、黒部市・入善町において日本海に注いでいます。上流域の大部分が中部山岳国立公園に指定され、黒部峡谷等の景勝地が見られる等、豊かな自然環境に恵まれており、下流の氾濫域内には富山県の主要都市である黒部市や入善町があり、JR 北陸本線、北陸自動車道等の基幹交通施設が整備され、交通の要衝となるなど、この地域における社会・経済・文化の基盤をなしています。

今回の黒部川水系河川整備計画は、河口から宇奈月ダム湖上流端までの 27.6km の国土交通大臣が管理している区間を実施区間としています。

黒部川は、扇状地を流れる急流河川であり、流れが速く土砂を多く含んだ洪水流によって、幾度となく堤防の決壊による氾濫を繰り返しており、昭和 9 年、27 年、44 年洪水では広範囲に甚大な被害が発生しています。また、最近では平成 7 年、8 年では河岸侵食や上流部での土砂災害などの被害が多く発生しています。これらを踏まえ、洪水による災害の防止又は軽減（治水）に関しては、黒部川の洪水氾濫から沿川地域を防御するため、戦後最大洪水である昭和 44 年 8 月洪水（基準地点愛本 5,700m³/s）と同規模の洪水が発生しても外水氾濫による浸水被害の防止に努めることを整備の目標とし、河道掘削や堤防のかさ上げ、腹付け等を行います。また、急流河川特有の洪水時の強大なエネルギーにより発生する局所洗掘や侵食等に対して根継護岸工や縦工等の洗掘・侵食対策を実施するとともに、堤防の堤体や基盤の浸透に対する安全性確保に努めます。さらに、河川管理施設の状況を的確な把握、状況に応じた改善の実施に努めるとともに、急流河川の特性を踏まえた危機管理体制の整備・強化に努めます。

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持（利水）に関しては、流水の正常な機能を保持するために必要な流量の確保に向け、河川流量の監視等を行っていきます。また、継続的な水質モニタリングを実施し、関係機関と連携して良好な水質の維持に努めます。

河川環境の整備と保全（河川環境）に関しては、霞堤開口部と河道の間に流路（やすらぎ水路）を整備し、動植物の生息・生育・繁殖環境の連続性に配慮します。また、河道湿地環境やレキ河原、瀬・淵などの豊かな自然環境を保全するとともに、河道掘削や樹木伐採等にあたっては動植物の生息・生育機能が損なわれないよう、掘削・伐採方法や時期等に留意します。また、宇奈月ダム及びその周辺地域については、水と緑のオープンスペースとして、その利活用の促進や自然環境の保全等を行います。さらに、黒部川の歴史や自然等の特徴を踏まえながら、住民のニーズに応じた多様な利用空間の創造に努めるとともに、地域住民と連携した河川管理を推進します。

河川の維持管理については、堤防、護岸等の河川管理施設、河道及び河川空間が有する機能を十分発揮できるように、河川管理施設等や、河道の状況を的確に把握し、状況に応じた改善策を行い、必要な河川の機能を確保します。

総合的な土砂管理にあたっては、砂防事業や海岸事業との整合・連携を図り、健全な流砂系の維持を目的とした調査・研究に取り組み、水系一貫した土砂管理システムの確立を目指します。

●策定プロセス

平成 19 年 9 月から黒部川に造詣の深い学識経験者等で構成される「黒部川流域懇談会」において議論され、住民説明会や意見投書（閲覧、ホームページ）等によりいただいた流域の皆様のご意見を踏まえ、平成 21 年 4 月に河川整備計画（案）が取りまとめられました。その後、関係機関との調整を経て、このほど黒部川水系河川整備計画が策定されました。



黒部川流域懇談会開催状況

説明会の開催状況
サンウェルセセラホール
（入善町）

黒部川水系河川整備計画（大臣管理区間）の概要

流域及び河川の概要、計画対象区間及び期間

- 流域は多雨地帯であるとともに平均河床勾配は山地部で約1/5～1/80、扇状地部で約1/100の急流河川
- 上流域は県内随一の観光地であり、下流域の臨海性扇状地には人口及び資産が集中

計画対象期間

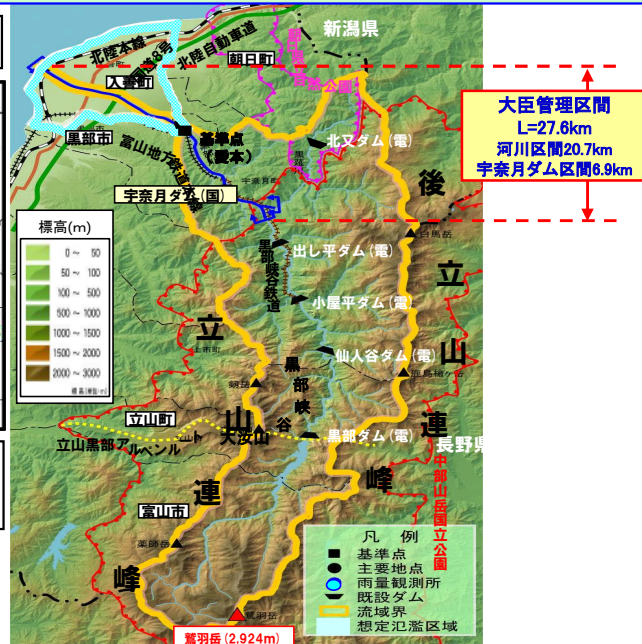
概ね30年間

位置図



流域及び氾濫区域内の諸元

流域面積（集水面積）：682km²
幹川流路延長：85km
想定氾濫区域内人口：約5.6万人



河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- 流水の正常な機能の維持のため、流況等のモニタリングを継続的に実施
- 継続的な水質観測を実施し、関係機関と連携して良好な水質の維持に努める

- ・河川流量の監視
- ・関係水利使用者との調整
- ・水質調査の継続実施
- ・水質事故時の対応



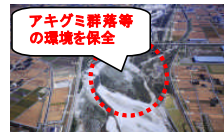
河川環境の整備と保全

- やすらぎ水路の整備等動植物の生息・生育・繁殖環境の連続性への配慮
- 黒部川の歴史や特徴を踏まえ、地域のニーズに応じた河川利用を関係機関と連携しながら推進

- ・連続した水流の確保（やすらぎ水路整備）
- ・生物への配慮
- ・宇奈月ダム周辺における環境整備
- ・河川空間環境の適正な管理
- ・歴史的な治水・利水・文化施設の活用



やすらぎ水路の整備



アキギミ群落等の環境を保全
6.0k～7.0k付近の河道状況

洪水による災害の発生防止又は軽減

- 洪水氾濫から沿川地域を防御するため、外水氾濫による浸水被害の防止に努める
- 急流河川特有の流水の強大なエネルギーに対する堤防の安全を確保するため、急流河川対策を実施
- 堤防の浸透に対する安全性の確保のため、必要に応じて堤防の質的整備を実施
- 急流河川の特徴を踏まえたハード・ソフト両面での水防管理体制を確保

- ・河道掘削
- ・堤防の断面確保（嵩上げ、腹付け）
- ・急流河川対策
- ・堤防浸透対策
- ・重点箇所対策（愛本付近）
- ・霞堤の機能保全、維持

堤防の断面確保



急流河川対策



河川の維持管理

- 黒部川の機能を活かした効率的・効果的な河川管理を実施

- ・サイクル型維持管理（監視、評価、改善）
- ・河川、河川管理施設の巡視、点検、調査
- ・宇奈月ダムの操作と維持管理
- ・危機管理対策



河川の巡視点検



ダム堤体・放流設備の点検

総合的な土砂管理

- 砂防事業、海岸事業との整合・連携、流砂系の維持を目的とした調査・研究に取り組み、水系一貫した土砂管理システムの確立を目指す

